

部屋からスペースへ（その3）／ コルビジェ・ステューディオタイプに見るインテリアの近代にかかる思考実験

灰山彰好

From Room to Space / Modern Interior expressed on the “Studio type plan“ of Le Corbusier’s
HAIYAMA, Akiyoshi

はじめに

近代・現代住宅が取り組んできた課題を一言で要約すれば「部屋からスペースへ」ではなかったか、との仮説の実証を試みる一連の研究の続報である。（その1）「部屋からスペースへ／シュレーダー邸を題材とするインテリアの近代にかかる思考実験」では、個々の部屋レベルでは平凡なシュレーダー邸が、引き戸の開け閉め具合によって先進的なスペースに変容する過程を、透視図を用いて再現し、（その2）「同／ハマスホイの室内画に見るインテリアの近代」では、20Cの初頭に活躍したデンマークの画家ヴィルヘルム・ハマスホイの「実験」を透視図によって検証した。この報告では、コルビジェ・ステューディオタイプの萌芽過程をいくつかの透視図を作成して検証し、冒頭仮説の裏付けとしている。

予備的考察

(1) スペース（空間）

住宅の設計課題において、部屋の羅列ではなく空間をーと指示すると、学生は案外納得する。壁を取り払った自由なプラン（近代建築五原則の3）の理念は、初級者でも分かる自明の事柄と思われる。プランニングの眼目は相互の関係であるので、一部屋だけの設計課題は適切でないとの主張を、（その1）研究の動機で述べた。

(2) 思考実験

仮説を検証するための紙上実験の意、ここではCADを使った透視図作成を指す。透視図法によるハマスホイの実験については（その2）で述べた。コルビジェもまた透視図法の名手であったことは周知のとおりである。

(3) ステューディオタイプ

コルビジェ全集1920-1929には、開眼とタイトルされた見落とせない一文が記載されている。中二階のある小さなレストランがモデルとのことであり、小邸のプロジェクト「シトロアン（fig.1）」で応用された。

実験と考察

コルビジェは1920当時まだ実作が少なく、内外の透視図で設計案をアピールしているが、シトロアンの場合

は外観のみで室内画が描かれていない。最初のステューディオタイプ（以下Sタイプ）を正面から透視図にするとfig.2の通りである。前面は総ガラス窓なので、外から見ると同様の構図が見られるはずである。くつろぎを演出するピアノ、1階奥のキッチン、さらに奥のトイレ、2階はギャラリー風、その奥にはパーティー用の予約室と、どう見てもレストランのしつらえである。

アトリエ風のSタイプは、1924年のプロジェクト「工匠のための量産住宅」（fig.3）で試みられ、透視図（fig.4）が添えられている。試みにプランから描き起こしてみるとfig.5となった。まったく同じ構図（ただしタッチのない下書き）であり、透視図法が忠実に適用されていることが分かる。コルビジェのタッチで描かれたSタイプ（1939/40）をfig.6に掲げる。設計対象はすばり小邸のリビングルームとなっているが、未だ実作ではない。

Sタイプのアイデアは、第二次大戦後にマルセーユの集合住宅によって実現する（fig.7）。延べ面積110.9㎡、日本の通り庭民家によく似たワンルーム住宅であり、吹き抜けリビングが採光坪庭に相当する。紹介写真は多いが、コルビジェ自身は室内透視図を描いていない。

スタジオ風リビングの工夫を味あうべく作成した透視図をfig.8-11に掲げる。fig.8はキッチン食堂を臨む構図、fig.9は水平フィンの効果を描いた、写真ではありえない構図、fig.10は家族の対話を描いた、写真でもよく紹介される構図である。虚構を含むという意味でのベストショットは、猫の目線で描いたfig.10であろう。

結び

一世紀に亘る「部屋ではなくスペースを」との建築活動を理解いただけるなら、インテリア教育においても最低限度「吹き抜けリビングをもつワンルーム住宅」を設計課題としたいものである。Sタイプは永い間住宅作家御用達のアイデアであったが、パッシブソーラーハウスにおいてはその空間構成に強い必然性があり、この方面からの流行が楽しみである。

（一級建築士事務所 studio HAIYAMA 主宰）

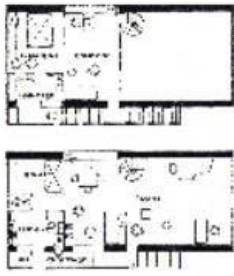


fig.1 シトロアンプラン
(1924)

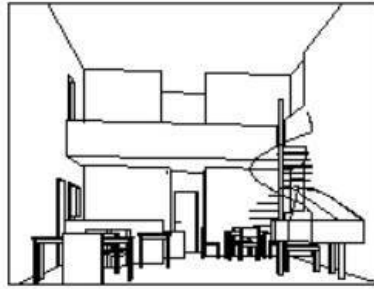


fig.2 同透視図 (筆者)

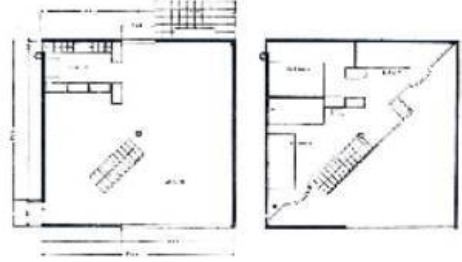


fig.3 工匠のための量産住宅
(1924)

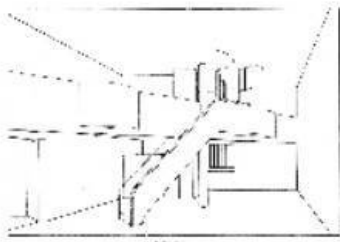


fig.4 同透視図

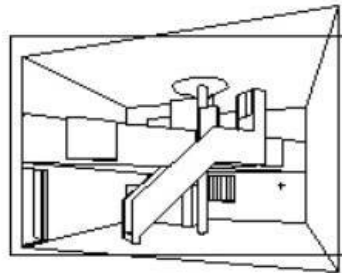


fig.5 同透視図 (筆者)

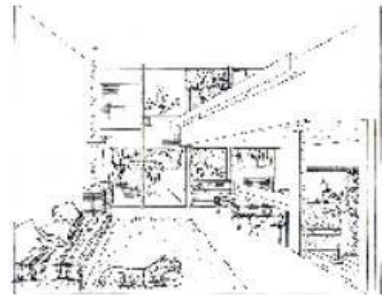


fig.6 リビングルームの内観
(1939/40)

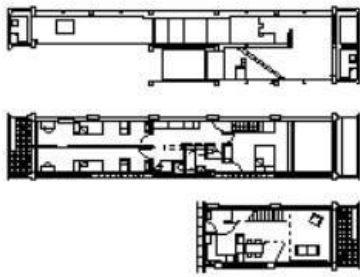


fig.7 マルセーユの集合住宅
(1952)

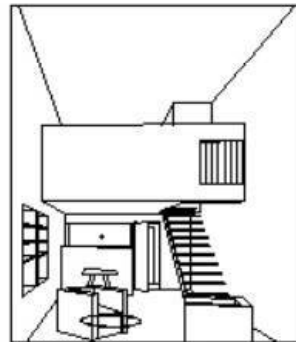


fig.8 同透視図 (以下筆者)

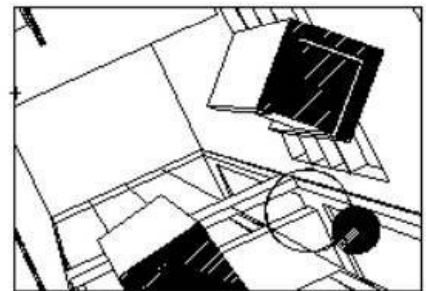


fig.9 同見上げ図

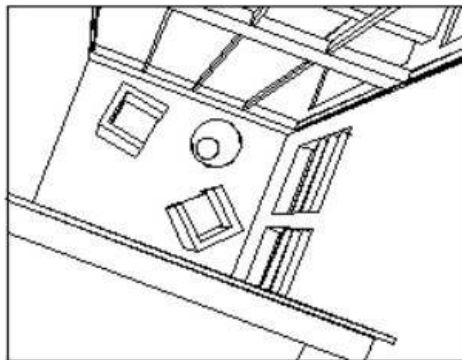


fig.10 同俯瞰図

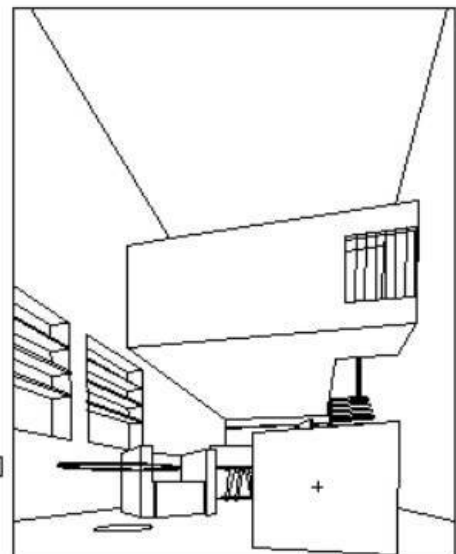


fig.11 同猫目図